

# 小田川合流点付替え事業の概要

平成30年3月22日

中国地方整備局 岡山河川事務所

# 目次

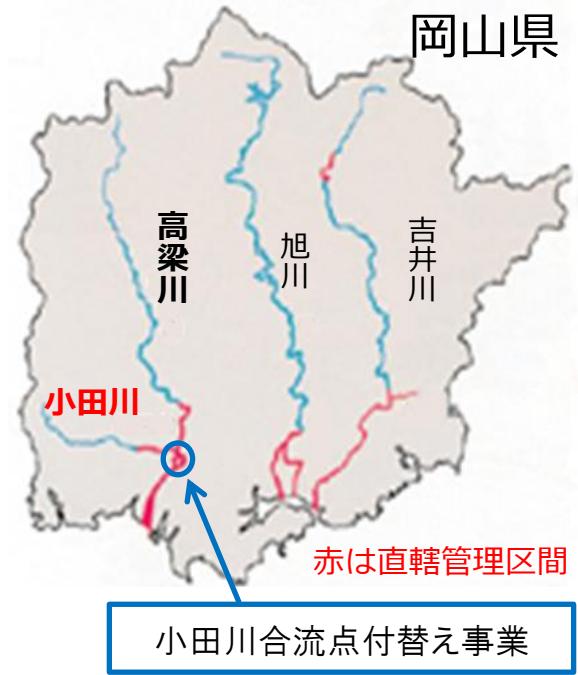
---

1.	高梁川流域の概要	...	1
2.	治水上の課題	...	2
3.	事業の概要	...	4

# 1. 高梁川流域の概要

流域面積(集水面積)  
: 2,670km<sup>2</sup>

小田川流域面積  
: 493km<sup>2</sup>



幹川流路延長  
: 111km  
国管理延長  
高梁川 : 23.2km  
小田川 : 8.8km

		高梁川
流域内人口		約26万人
想定氾濫区域	人口	約49万人
	資産	約10兆2,900億円
流域内市町村		2県(岡山県・広島県) 9市3町(倉敷市、高梁市など)

国管理区間  
(赤色)

凡例	
	流域界
	想定氾濫区域
	県境
	基準地点
	主要地点
	既設ダム

# 2. 治水上の課題(高梁川の背水影響)

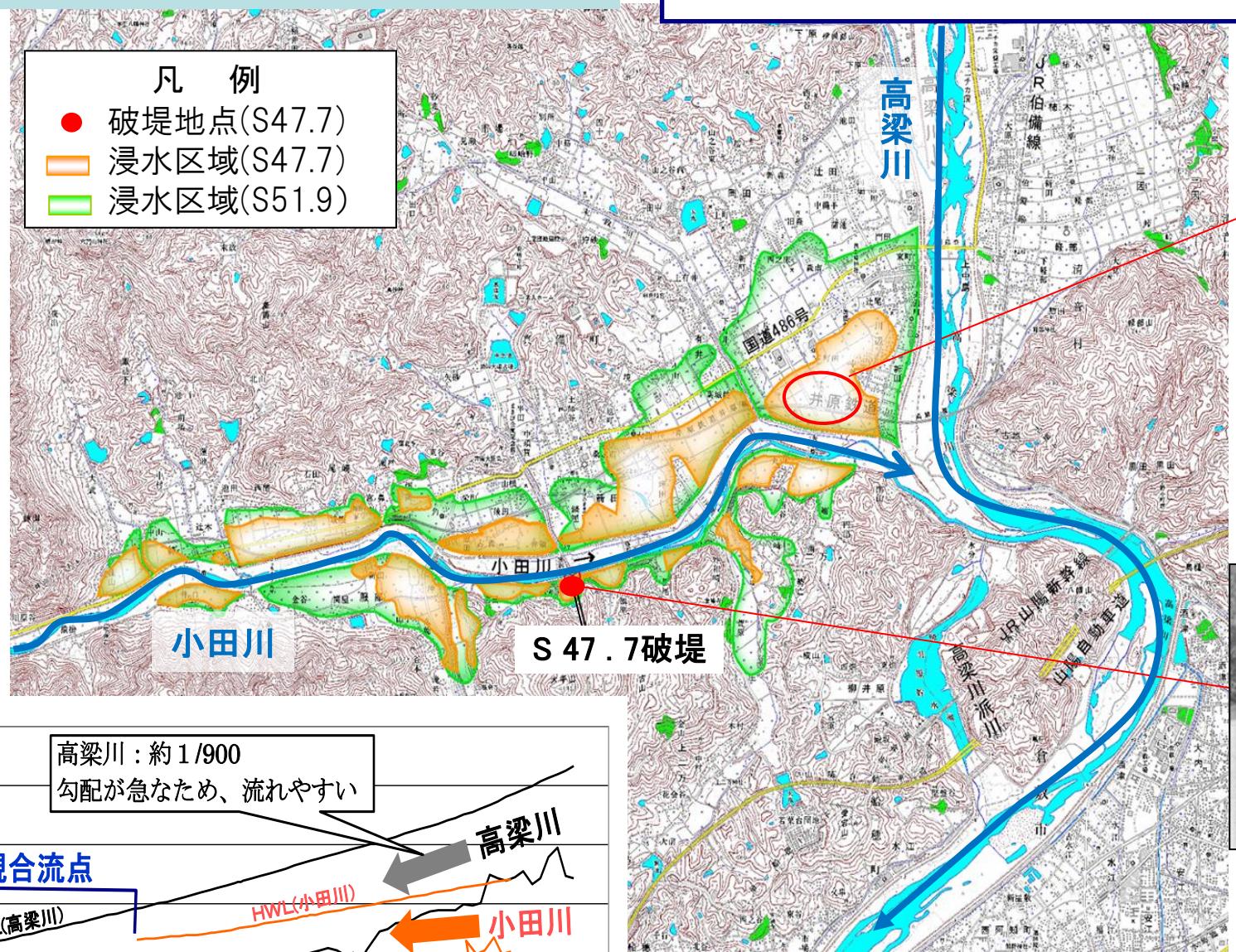
◆小田川沿川では度重なる洪水被害を受けており、被害を軽減するためには小田川の水位を下げる必要がある

## 小田川沿川の内水氾濫を生じやすい地形

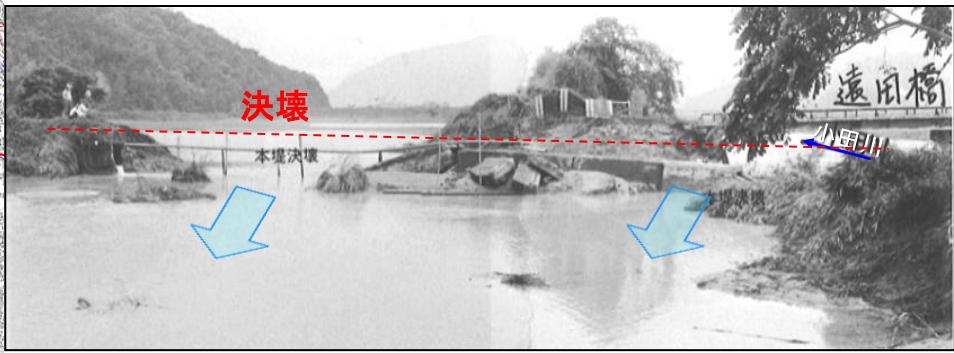
**S47.7洪水** 死者・行方不明 15人(岡山県内)  
 床下・床上浸水 5,203戸/2,144戸(流域内)  
 全半壊 227戸(流域内)  
 浸水農地 3,765ha(流域内)

**S51.9洪水** 死者・行方不明 18人(岡山県内)  
 床下・床上浸水 1,461戸/1,185戸(流域内)  
 全半壊 14戸(流域内)  
 浸水農地 620ha(流域内)

S47.7洪水・S51.9洪水(実績浸水区域図)



S51.9洪水の氾濫状況



S47.7洪水の氾濫状況

◆ 合流点付近では、高梁川の河川水が小田川に回り込み、小田川下流の水位も高い状態になる(背水影響)。  
 ◆ このため、居住地側からの排水不良に伴う内水氾濫が生じやすい。

- ・ 高梁川のHWLが小田川のHWLより高い。
- ・ 高梁川の河床勾配(1/900)が小田川の河床勾配(1/2200)より急。

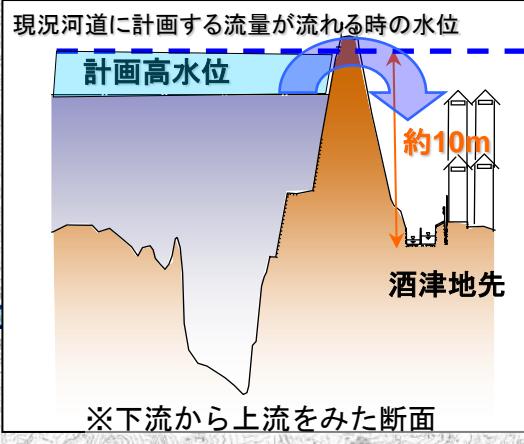
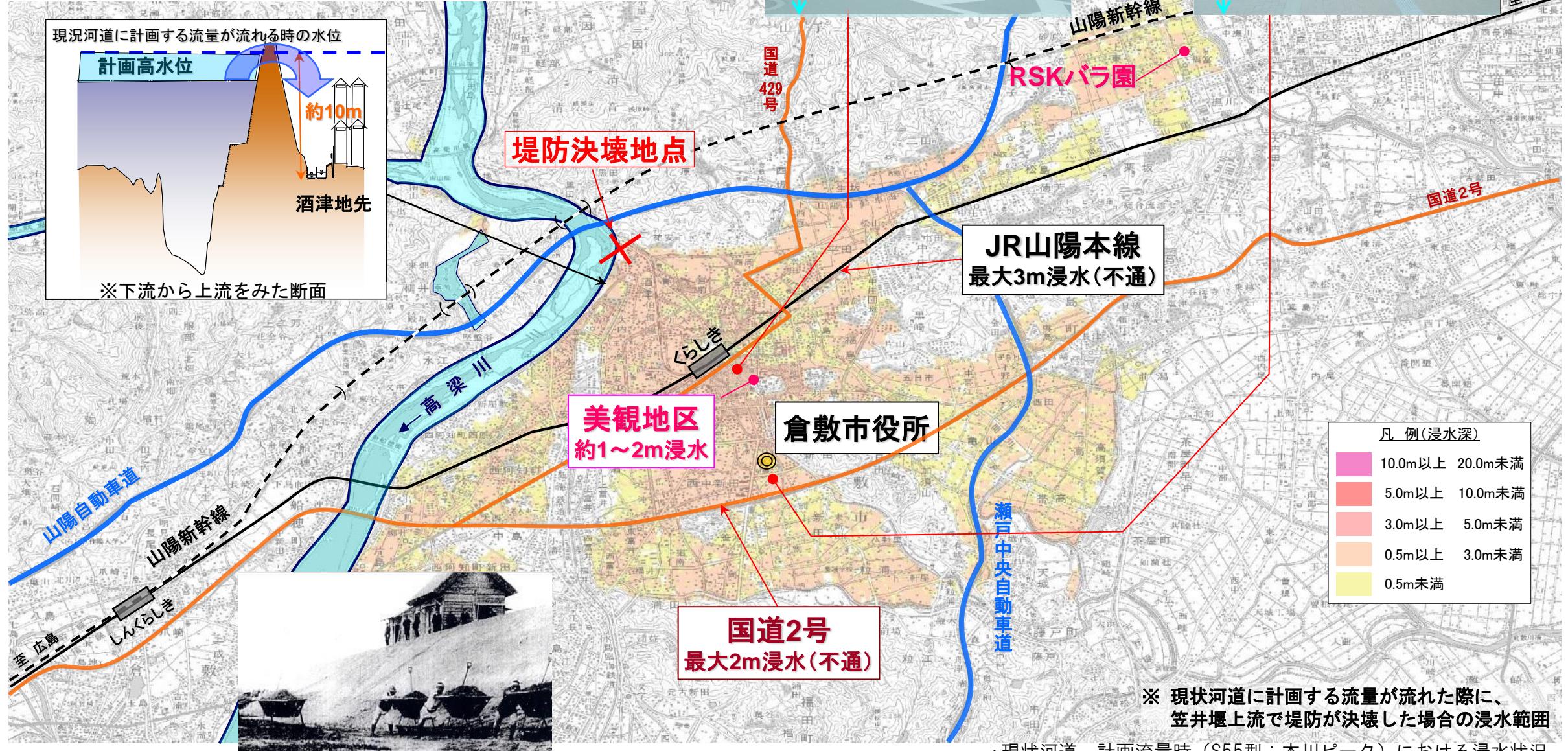
# 2. 治水上の課題(高梁川の洪水リスク)

◆流域で最も人口・資産が集積する倉敷市街地が背後に存在する酒津地先の安全度を向上させるため、酒津地点の水位を下げる必要がある

## 氾濫時の倉敷市街地の浸水想定

笠井堰上流左岸で堤防が決壊した場合の最大湛水深  
 (堤防決壊開始から約24時間)  
 浸水面積：約90km<sup>2</sup>、浸水家屋：約2万戸

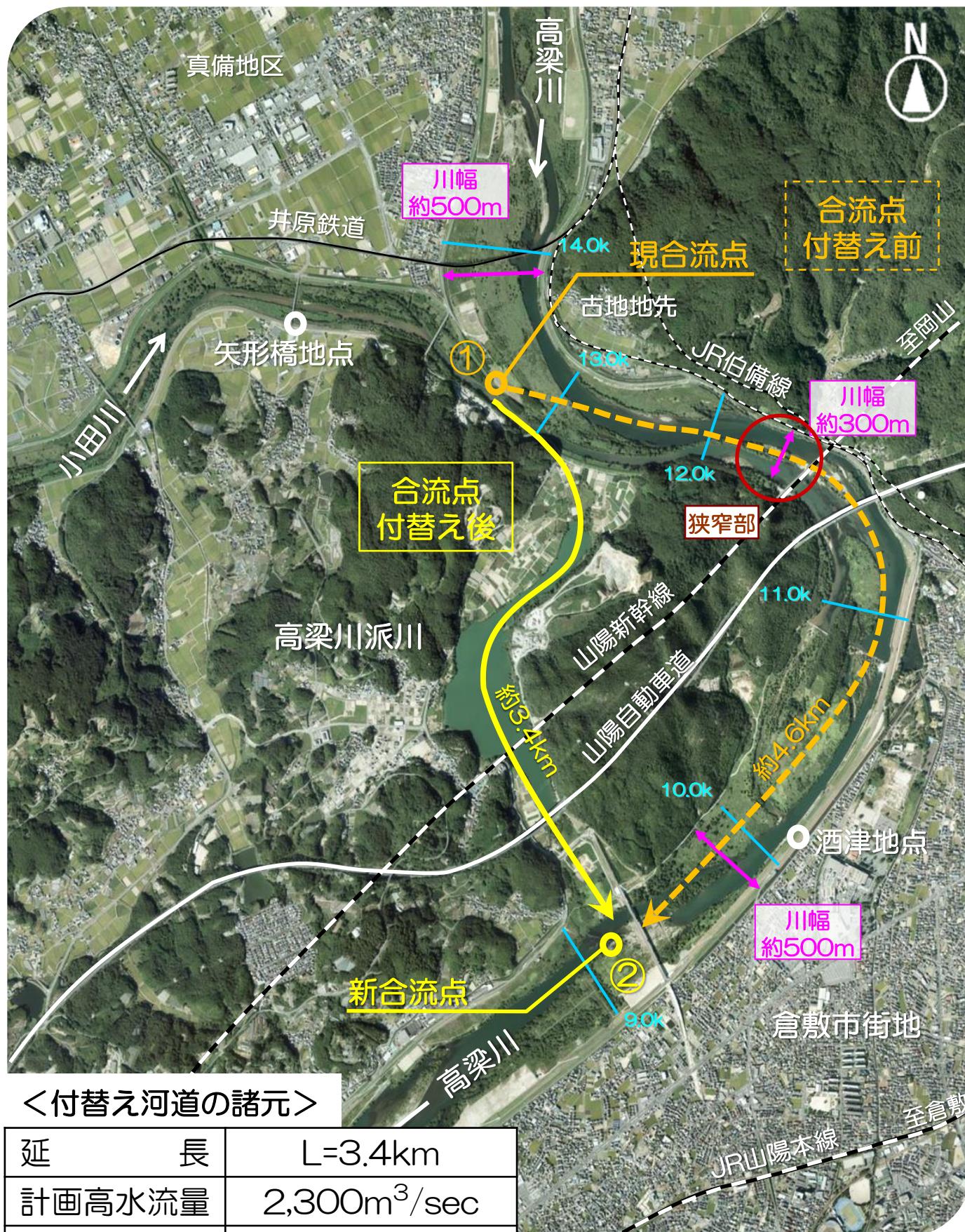
酒津地区では堤防高が10m程度あり、堤防が決壊した場合の氾濫水深が大きいいため、家屋、事業所等の被害も大きくなる



酒津付近の築堤工事(明治44年)

※ 現状河道に計画する流量が流れた際に、笠井堰上流で堤防が決壊した場合の浸水範囲  
 ・現状河道、計画流量時(S55型：本川ピーク)における浸水状況

# 3. 事業の概要 (事業の目的と効果)

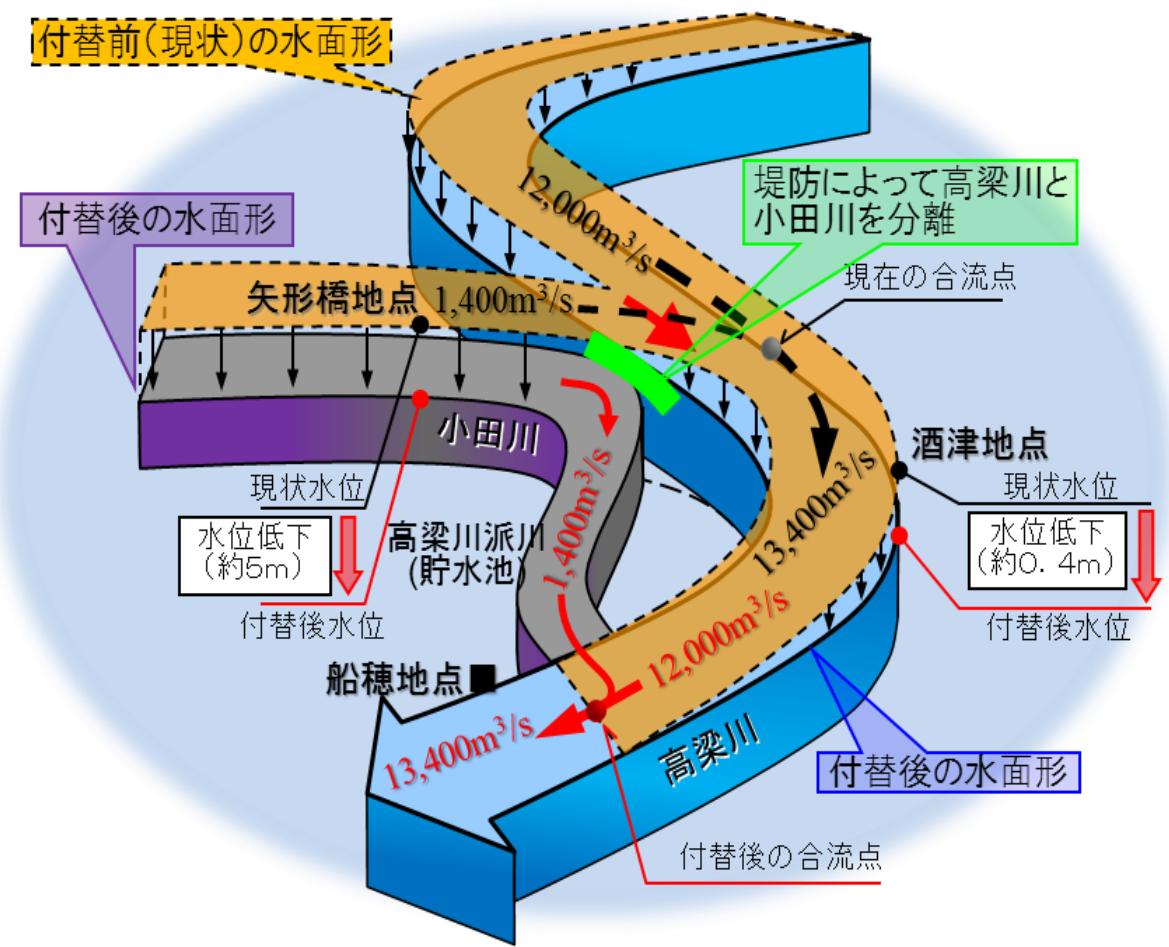


**【事業目的】**

- 高梁川派川（貯水池）を河道化し、高梁川と小田川の現合流点（①）を、約4.6km下流(②)へ付替え、高梁川及び小田川の沿川地域における治水安全度の向上を図る。

**【事業効果】**

- 高梁川の背水影響が軽減され、洪水時の小田川水位が低下。
- 現合流点と新合流点の間で通過流量が減少することにより、酒津地点の水位が低下。



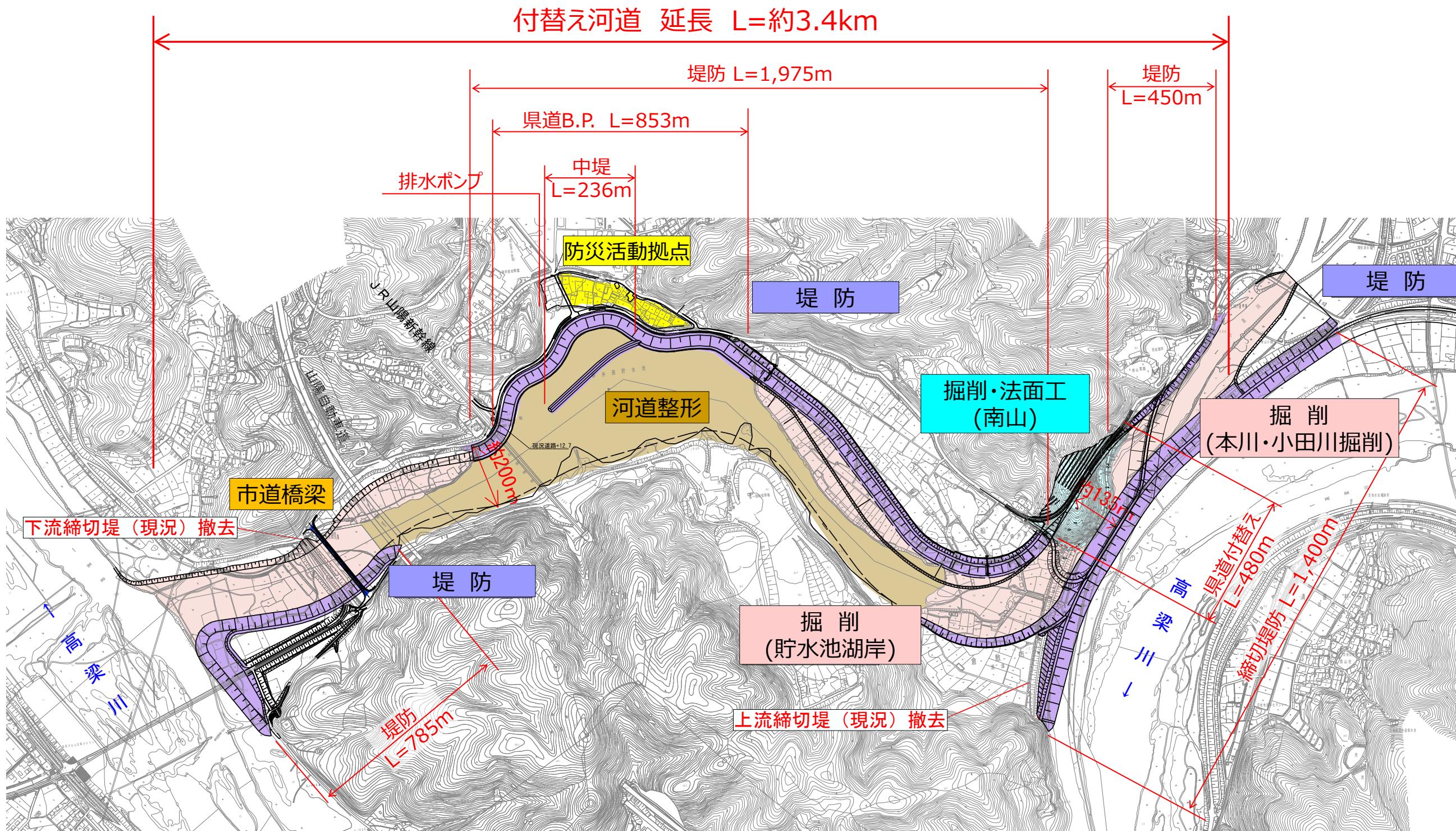
※図中の流量は、高梁川本川の計画高水流量流下時における通過流量  
 小田川付替による水位低下の効果イメージ

＜付替え河道の諸元＞

延 長	L=3.4km
計画高水流量	2,300m <sup>3</sup> /sec
代表川幅	W=約200m

# 3. 事業の概要 (平面計画)

■ 小田川合流点付替え事業で計画している施設等は下図のとおり。  
堤防延長 約L=4.8km、橋梁 N=1橋、道路 約L=1.3km、その他1式

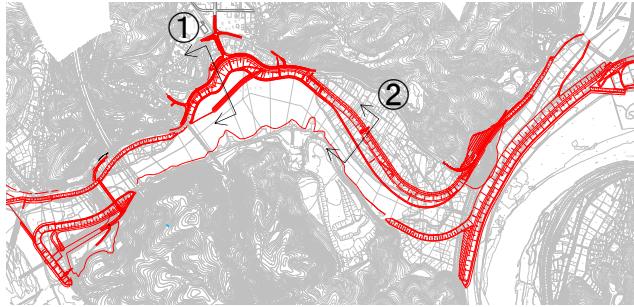


約260万m<sup>3</sup>の掘削 → 堤防・河道整形等に有効利用。

# 3. 事業の概要 (現況と完成イメージ)

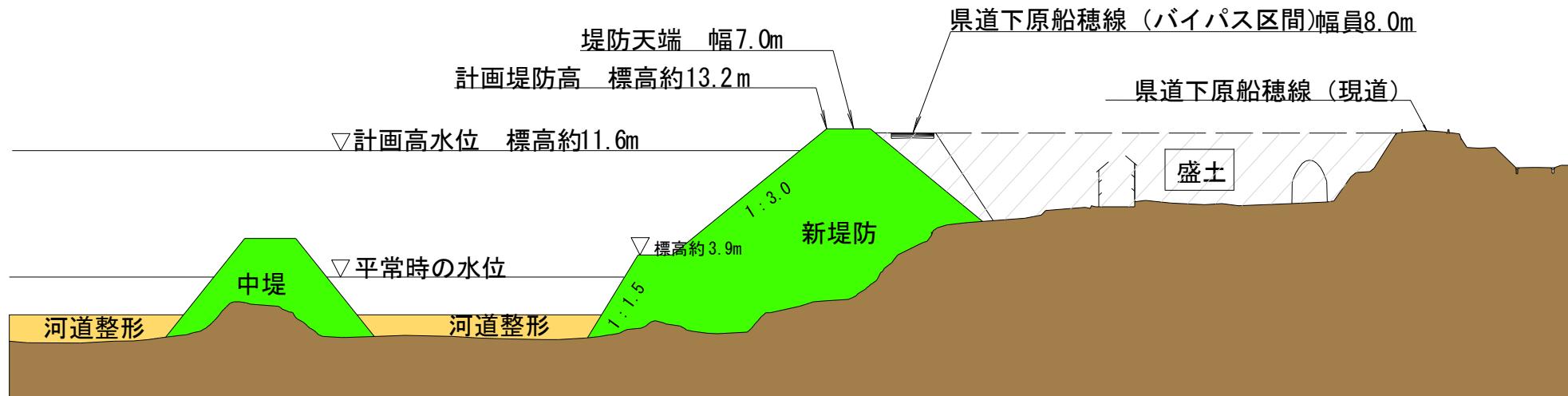


# 3. 事業の概要 (横断計画①)



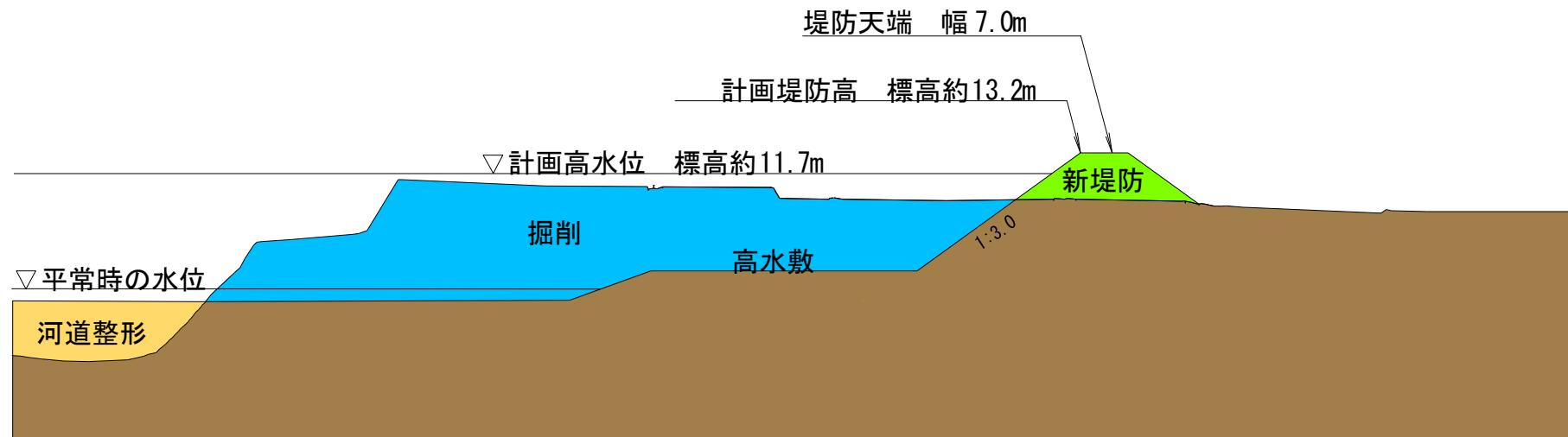
①-①

横 : 縦 = 1 : 2

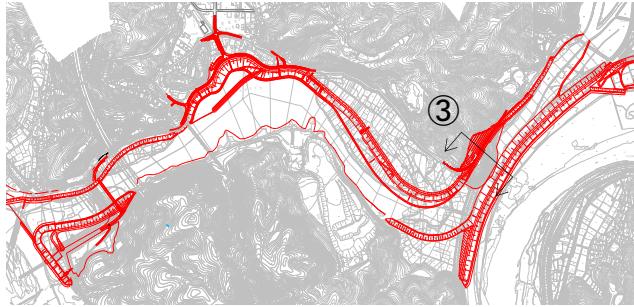


②-②

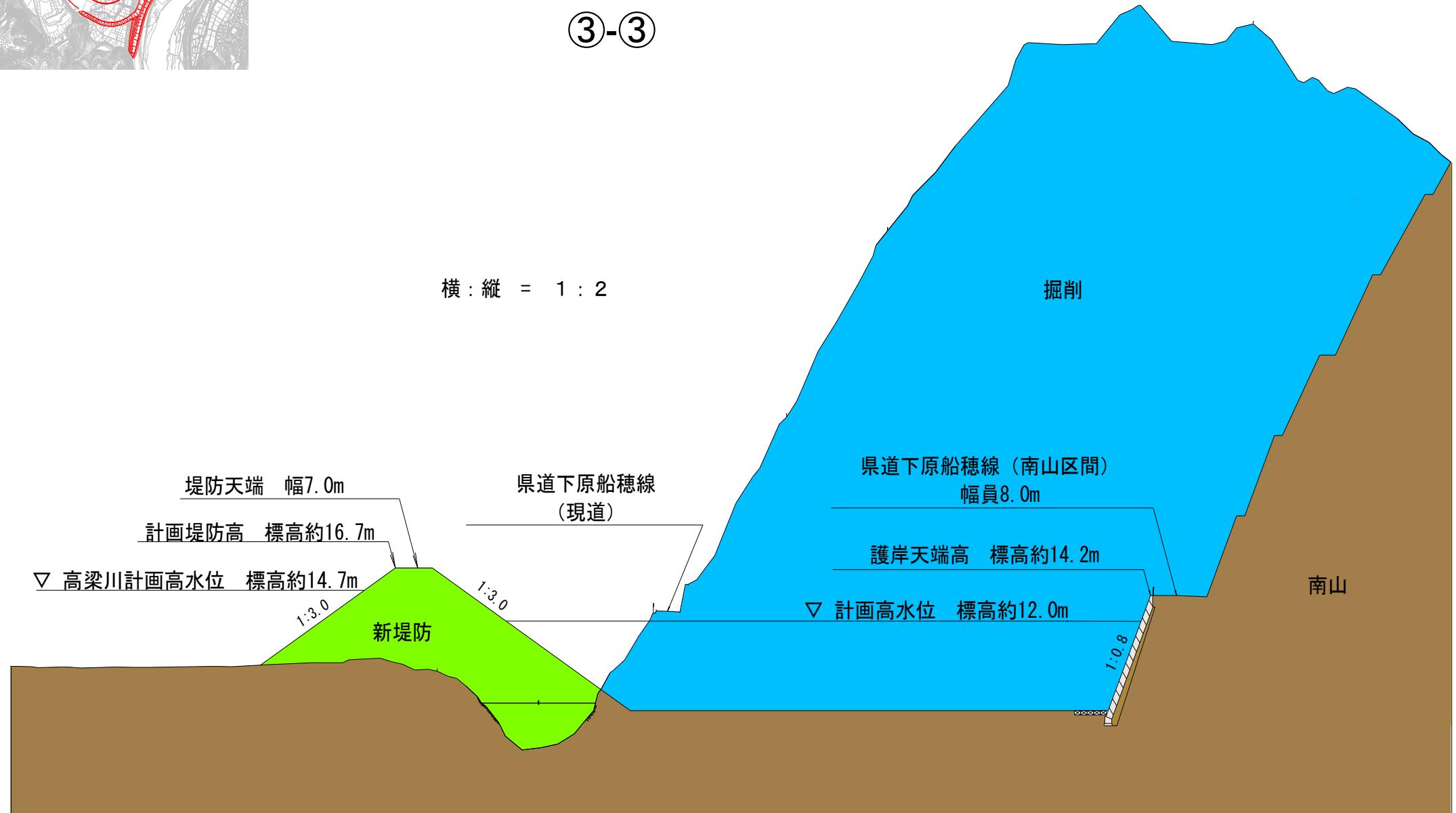
横 : 縦 = 1 : 2



# 3. 事業の概要 (横断計画②)



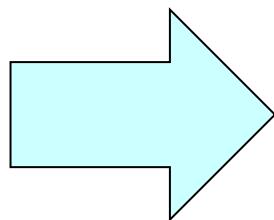
③-③



# 3. 事業の概要 (概略土工配分計画①)

## ◆ 主要な事業内容

掘削土量  
約260万m<sup>3</sup>



河道整形  
約65万m<sup>3</sup>

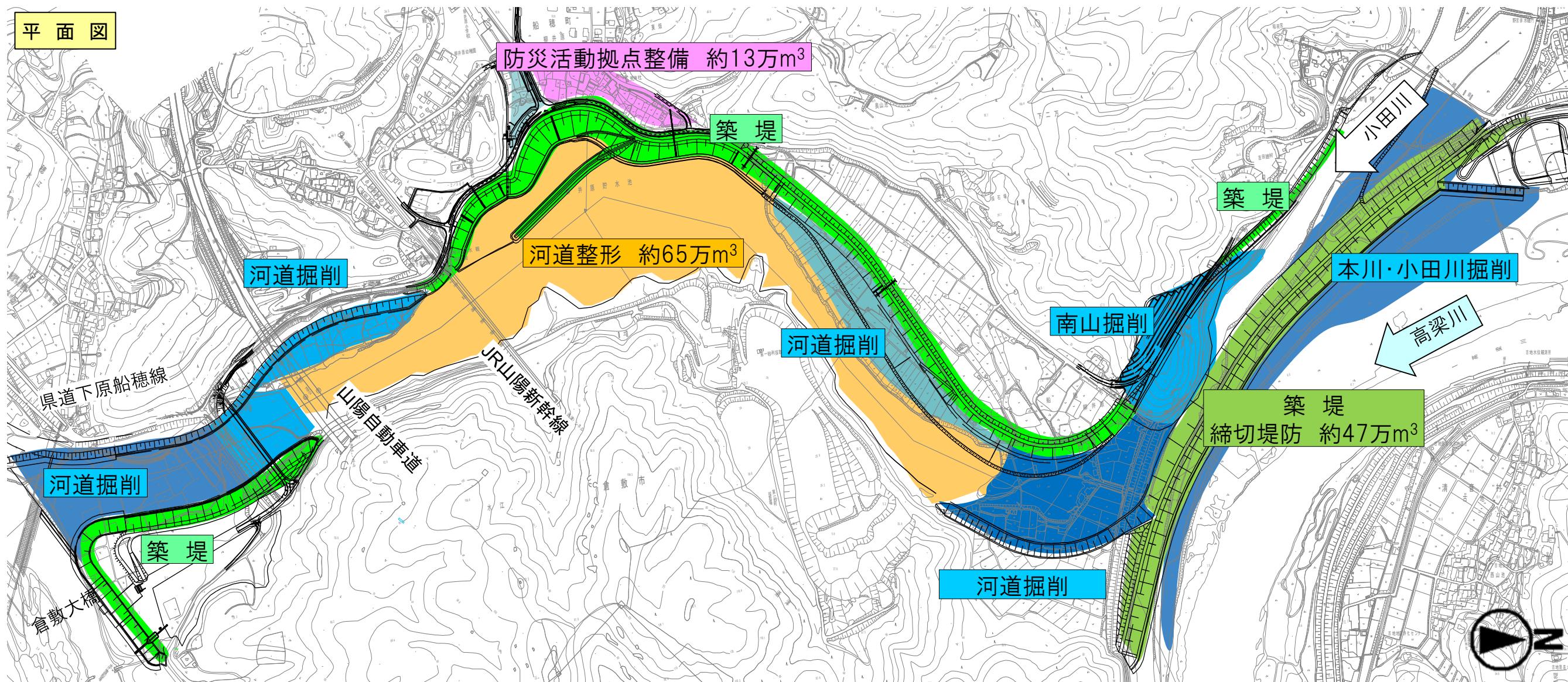
防災活動拠点整備  
約13万m<sup>3</sup>

その他  
約24万m<sup>3</sup>

築堤 (締切堤防)  
約47万m<sup>3</sup>

築堤等  
約111万m<sup>3</sup>

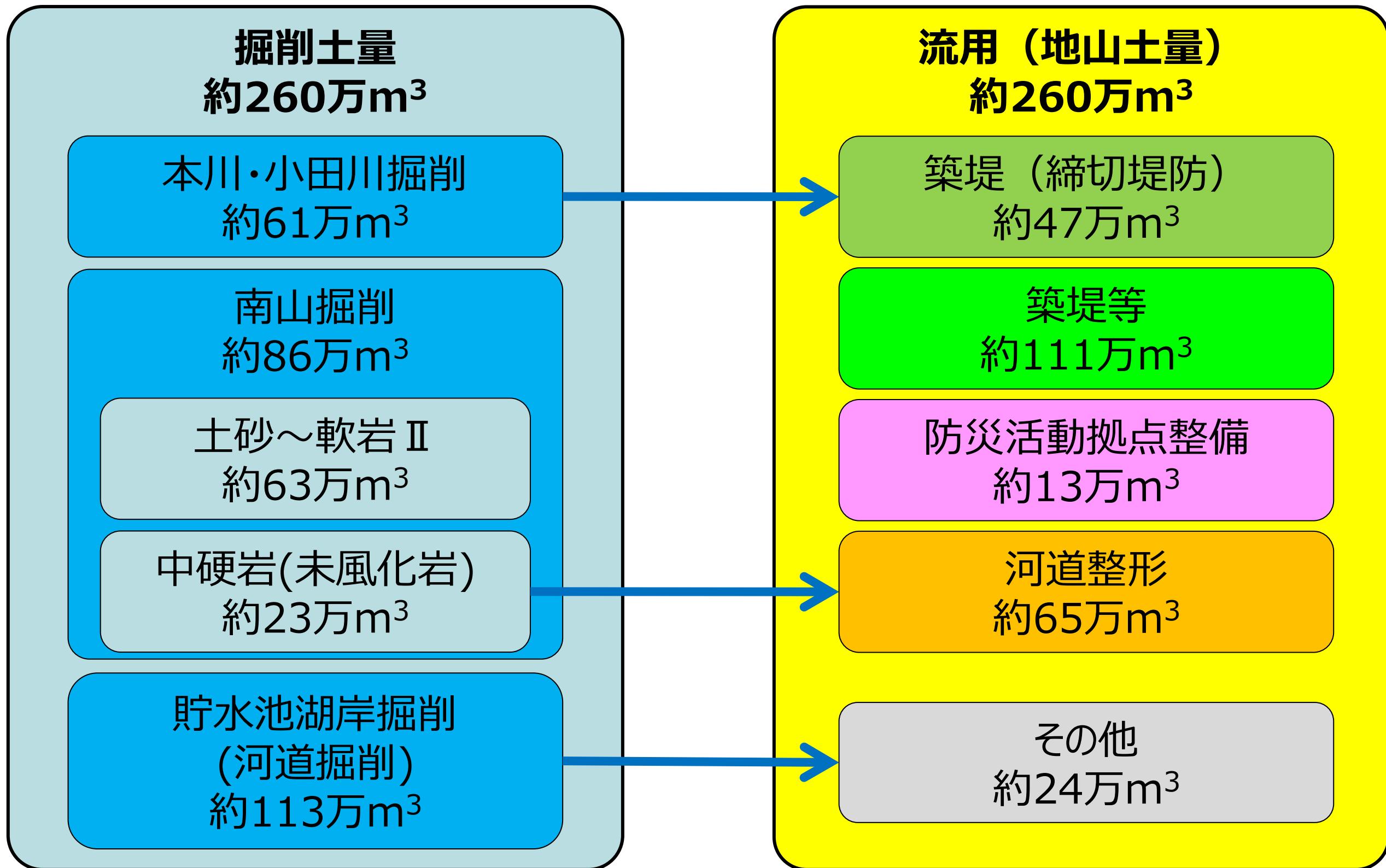
※現時点での計画(地山土量)



※これらの概略土工配分は、重金属等の適切かつ効率的な対策等を検討した結果、変更となる場合があります。

# 3. 事業の概要 (概略土工配分計画②)

## ■全体土工配分



流用確定箇所

※これらの概略土工配分は、重金属等の適切かつ効率的な対策等を検討した結果、変更となる場合があります。